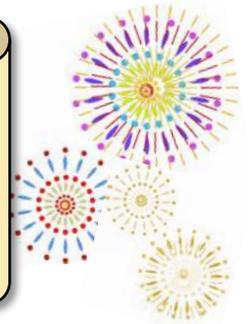


Les Amis de L'Orgue de Tokorozawa MUSE



今年も暑い夏の到来ですね。先日、ミュージズのカフェ『彩』で10ポイント制覇！レッスンや練習の合間に利用しているドリンクバーや軽食のお陰で、2年掛かりましたがついに特典の『お食事券』を獲得しました♪みなさまもぜひ挑戦を。そして見かけたら是非お気軽にお声掛け下さいね。

🍏 7月27日(木)は“とことこ”探検ツアー-with 大平健介氏🍏

毎年所沢ミュージズでは小中学生対象の企画『夏休み!“とことこ”探検ツアー』を開催しています。今までは所沢市に限定して募集をしていましたが、今年からは市外の方も対象になりました。毎年発売開始数日で完売してしまう人気企画です。大ホールの照明室や舞台見学、会場でオルガン演奏を聴き、最後はそのオルガンを実際に触れてみようという、文字通り“とことこ”歩きながらのホール探検ツアー。今年ドイツ在住の新進オルガニスト・大平健介氏(写真)を迎え、私と二人で72名の子供達のエスコート役を務めます！



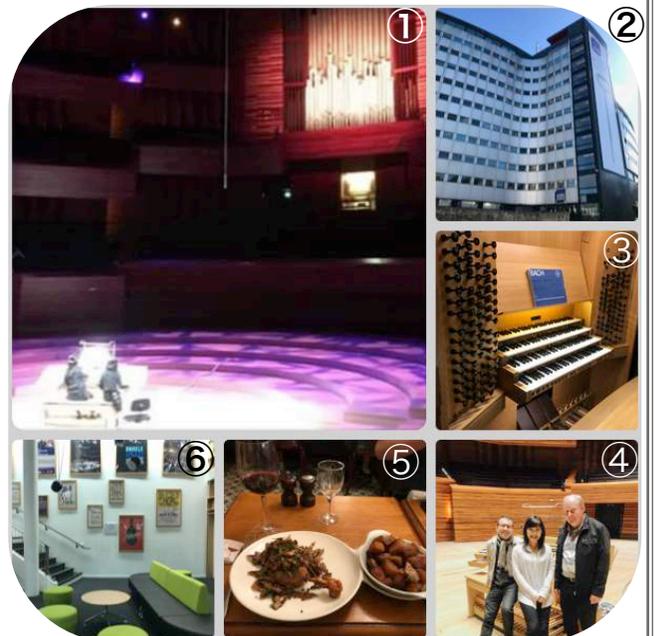
公演レポート▶▶6月30日 500円コンサート&ラジオ・フランス公演

先日の500円コンサートでは梅雨の最中、沢山のお客様にお越し頂き、有り難うございました。ラジオ・フランス(パリを拠点とするフランスの国営放送局)での演奏会の直後でしたので、その風を是非とも味わって頂くため、フランスで演奏した3曲を選びました。午後のコンサートでは、大ホールの壁一面に星型の照明を照らし出して夜空のような演出(写真左)をしながら星に因んだ作品を演奏するなど、新しい試みも好評でした。

さて、ラジオ・フランスでの公演について。新設された円形のホールは、木のぬくもりがあり、舞台から客席までの距離が思ったより近くて驚きました。スペインのグレンツィング社製作のオルガンは、様々なオルガニストのアイデアを詰め込んだ、まさに現代の楽器。87ストップ、4段鍵盤+ペダル鍵盤(7つの異なる音色群をもつ)、5320本のパイプを持つ巨大なもの。楽器との初対面から短いリハーサル時間で音色を決め、楽器に慣れつつも、そのオルガンの最も良い響きを引き出す。この時間は本当に真剣勝負です。今までに見た事もない凄い装置をいくつかご紹介しましょう♪

▶演奏しながら、ある特定の鍵盤の風圧の調整ができる
▶ミクスチュア(混合管)の構成音を自分で決められる
などなど、驚きの連続でした！短いリハーサル時間の中で不安があったものの、『夜』をテーマにした今回の演奏会は、日本の細川俊夫さんの作品も含め、パリの聴衆にも大変喜ばれました。ラジオ局なので全てのコンサートは録音され、France Musiqueの番組でその様子を放送して頂き、私の人生の中で最も貴重な体験となったのです。

それにつけても、様々なオルガンを弾いてきて思う事があります。歴史的な名器は除いて、ホールにあるオルガンとしては、所沢ミュージズのリーガー社製のオルガンはかなり良質な楽器であると。そんなホールでオルガニストをできるなんて、幸せなことです。もっと皆様に魅力を伝えられるよう、これからも頑張ります！



①公演中の様子(舞台上の移動式演奏台で演奏中) ②ラジオ・フランスの建物外観 ③オルガンの演奏台 ④リハーサルでのひとコマ(左・オルガン部門プロデューサーのアヴォ氏、右・作曲家のオーベルタン氏) ⑤フランス南西地方の郷土料理、鴨のコンフィと赤ワインに舌鼓 ⑥ホール楽屋裏のお洒落なラウンジ